

2024年1月4日

**HSBC世界資産選抜（愛称：人生100年時代）
新たに「種まきコース（安定運用型）」を設定
JAバンク（JA／信連／農林中央金庫）で販売を開始**

HSBCアセットマネジメント株式会社は、自社が設定・運用する「HSBC世界資産選抜（愛称：人生100年時代）」（以下、「人生100年時代」と言います。）に新たに「種まきコース（安定運用型）」（以下、「当ファンド」と言います。）を設定することを発表しました。2023年12月18日（月）に設定し、2024年1月4日（木）からJAバンク^{注1}にて販売が開始されます。

「人生100年時代」は、世界中の幅広い資産に分散投資を行い、目標リスク水準の範囲内で運用を目指す投資信託です。これまで、育てるコース（資産形成型）、収穫コース（予想分配金提示型）、充実生活コース（定率払出型）の3つのコースにより、様々な世代のご要望にフィットする商品を揃えることで多くの投資家にご愛顧いただいていた。この度、それら3コースに加えて、新たに全世代向けに資産の保全を重視する「種まきコース（安定運用型）」を設定いたします。

世界的にインフレ上昇がみられる昨今、日本においても食料品やエネルギー価格が上昇する一方で、年金受給額や給与の上昇は限られており、これまで以上に物価上昇を感じる機会が増えています。このような環境下、世代に関係なく、インフレから資産を守りたい方やリスクを抑えた保守的な資産形成を望む方のために当ファンドを企画しました。また、当ファンドを含めた4コースとともに2024年からスタートするNISA成長投資枠の対象ファンドでもあります。

当ファンドは、既存3コースとは異なり投資対象を世界の債券に絞り、保守的な運用を行います。目標リスク水準は年率3～5%とし、リスクの範囲内でリターンの最大化を目指します。また、外貨建て資産については、原則として現地通貨建て新興国債券以外を為替ヘッジし、為替変動による影響を回避します。

HSBCアセットマネジメント株式会社は、今後もお客様のご要望に応じた投資信託やサービスをご提供して参ります。

注1：一部のJAバンクでは、お取扱いがない場合があります。お取扱いについては、1月4日以降、JAバンクのホームページでご確認ください。 <http://www.jabank.org/tameru/ichiran/>

次頁に続く

各コースの特色

全てのコースが新NISA成長投資枠の投資対象				
選べる4つのコース	全世代(現役世代～年金受給世代)	現役世代	定年退職前後	年金受給開始後
	種まきコース(安定運用型)	育てるコース(資産形成型)	収穫コース(予想分配金提示型)	充実生活コース(定率払出型)
	保守的な運用による「資産の保全」を重視	安定性を保ちながら「長期的な資産成長」を重視	利子・配当収入の安定性と元本の成長性の「バランス」を重視	より安定的に運用しながら目標分配率 ^(注) に応じた分配を重視
対象資産	債券	株式・債券・代替資産	株式・債券・代替資産	株式・債券・代替資産
目標リスク水準	年率3～5%	年率8～10%	年率5～8%	年率6%以内
決算回数	年2回(1月、7月)		年6回(公的年金の支払われない奇数月)	
運用資産の推移と分配等のイメージ例				
こんな方におススメ	<ul style="list-style-type: none"> ●保守的な資産形成をご希望の方 ●インフレ等から資産を守りたい方 	<ul style="list-style-type: none"> ●安定的な資産形成をご希望の方 ●積立や一括運用 	<ul style="list-style-type: none"> ●投資元本を保ちつつ、生活の補完に分配金を受け取りたい方 ●長い人生のために資産寿命を延ばしたい方 	<ul style="list-style-type: none"> ●投資元本を取り崩しても分配金の受け取りを重視したい方 ●より充実した生活を送りたい方
実質通貨配分のイメージ図	<p>原則として為替の影響を回避 ※原則として、現地通貨建て新興国債券以外を為替ヘッジ</p>	<p>原則として為替の影響を回避 ※原則として、新興国株式、不動産、現地通貨建て新興国債券以外を為替ヘッジ</p>	<p>部分的に為替の影響を回避 ※原則として、現地通貨建て新興国債券を除く債券部分を為替ヘッジ</p>	<p>部分的に為替の影響を回避 ※原則として、現地通貨建て新興国債券を除く債券部分を為替ヘッジ</p>
運用資産の推移と分配のイメージ	<p>分配を極力抑制することによる権利効果が期待できます</p>		<p>※毎期の分配金が同額となることを目指すものではありません。</p> <p>※ファンドの基準価額が2,000円を下回った場合は、基準価額が入ります。</p>	
分配方針等	分配は利回り程度に抑え、資産の成長を目指します。		年2～3% ^(注1) の目標分配利回りをもとに目標分配額を提示します。	年7% ^(注1) 相当の目標分配率に合わせた分配を目指します。 ※実質投資元本の取り崩しを想定して設計しています。
決算回数	年2回(1月、7月)		年6回(公的年金の支払われない奇数月)	

各コースの実際リスク値は、市場環境等により目標リスク水準から外れる可能性があります。

実質通貨配分比率のイメージ図は、投資対象ファンドにおける実質的な外貨建資産に対する為替ヘッジの比率のイメージを示したものであり、実際の通貨配分比率とは異なります。

分配金額は、分配方針に基づき委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

また、分配金が支払われない場合もあります。

ファンドの利回りは期中および各期末の基準価額により変動しますので、あらかじめ予想できるものではありません。

各期に実際にお支払いした分配額は、HSBC アセットマネジメント株式会社のホームページでご確認ください。

(注) 目標分配率とは、基準価額に対する分配率の目安を示すものであり、実際の支払額を保証するものではありません。

(注1) 費用(信託報酬および投資対象とする投資信託の運用報酬等)控除後

お申込みメモ（詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。）

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降に販売会社でお支払いします。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても次のいずれかに該当する場合には、購入および換金の申込受付は行いません。 ロンドン、ニューヨーク、ルクセンブルグの証券取引所または銀行の休業日、ルクセンブルグのイースター・マンデーの前週の月曜日、クリスマス(12月25日)から4営業日前となる日 ロンドンの証券取引所または銀行の営業日を指します
信託期間	<ul style="list-style-type: none">● 種まきコース：無期限（信託設定日:2023年12月18日）● 育てるコース、収穫コース：無期限（信託設定日:2019年1月16日）● 充実生活コース：無期限（信託設定日:2020年1月16日）
繰上償還	各ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、各ファンドの信託を終了させる場合があります。 充実生活コースは、基準価額（1万口当たり。支払済み分配金を含まない。）が2000円を下回った場合には、当該日以降到来する決算期の分配を停止し、当該日の翌営業日から起算して3ヶ月以内に繰上償還します。
決算日	<ul style="list-style-type: none">● 種まきコース：毎年1月15日および7月15日(休業日の場合は翌営業日)。初回決算日は2024年7月16日● 育てるコース：毎年1月15日および7月15日(休業日の場合は翌営業日)● 収穫コース、充実生活コース：毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	<ul style="list-style-type: none">● 種まきコース、育てるコース:年2回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。● 収穫コース、充実生活コース:年6回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。当ファンドは、2024年1月1日以降のNISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象となる予定ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。 2023年9月末現在のものであります。税法が改正された場合等には変更される場合があります。

次頁に続く

当ファンドの費用（詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。）

投資者が直接的に負担する費用			
購入時手数料	購入金額に、 1.65%(税抜 1.50%) を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額を購入時にご負担いただきます。		
信託財産留保額	ありません。		
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
運用管理費用 (信託報酬)	各ファンド(コース)とも、ファンドの日々の純資産総額に対して以下の信託報酬率を乗じて得た額とします。ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。		
信託報酬	種まきコース	育てるコース、収穫コース、充実生活コース	
		年 0.803% (税抜年 0.73%) 以内	年 1.243% (税抜年 1.13%)
	(委託会社)	税抜年 0.35%以内	税抜年 0.55%
	(販売会社)	税抜年 0.35%	税抜年 0.55%
(受託会社)	税抜年 0.03%	税抜年 0.03%	ファンドの運用等の対価 (運用委託先への報酬が含まれます。)
			分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
			運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
投資対象とする投資信託証券	投資対象とする投資信託証券においてかかる運用管理費用は銘柄ごとに異なり、また組み入れる投資信託証券の銘柄および比率等は固定されていないため、事前に料率、上限額等を表示することができません。	年 0.06%程度	投資対象とする投資信託証券の実質投資比率を勘案した運用管理費用
実質的な負担	年 0.923% (税抜年 0.85%) (注)程度	年 1.303% (税抜年 1.19%)程度	投資対象とする投資信託証券の運用管理費用を加味して、投資者が実質的に負担する運用管理費用について算出したものです。
その他費用・手数料	<p>ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有価証券売買委託手数料/保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 振替制度にかかる費用/印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用/監査法人等に支払う監査報酬等 <p>純資産総額に対し上限年 0.20%として日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、育てるコース(資産形成型)については毎計算期末または信託終了のとき、収穫コース(予想分配金提示型)、充実生活コース(定率払出型)については毎年1月および7月に到来する計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資先投資信託証券における売買にかかる手数料、租税、カストディーフィー、監査報酬等 <p>その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。</p>		

(注) 投資対象とする投資信託証券に関する運用管理費用は本資料作成時点のものであり、今後投資対象とする投資信託証券の変更等が行われた場合、変更になることがあります。

ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

次頁に続く

当ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。

株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。

株式市場には株価の上昇と下落の波があり、現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。

債券価格は、市場金利の変動等の影響を受けます。

金利変動リスク

一般的に、金利が上昇すると債券価格は下落します。

なお、その価格変動は、債券の種類、償還までの残存期間、発行条件等により異なります。

その他資産のリスク

不動産に関連する資産に投資する場合、市場金利の変動、景気動向等の影響を受けるリスクがあります。

不動産以外のその他資産に投資する場合、当該資産の属性に応じたリスクがあります。

信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替変動リスク

円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合には、これらの金利差相当分のヘッジコストが発生します。

為替ヘッジを行っていない部分の外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の為替ヘッジを行っていない通貨に対する為替レートの変動の影響を受けます。

流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。

カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制や税制の変更、新たな規制が設けられた場合には、基準価額が影響を受けることや投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

次頁に続く

<関連するファンドに関わる事項>

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により、基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

<当資料のお取扱いにおけるご注意事項>

当資料は、HSBCアセットマネジメント株式会社（以下、当社）が情報提供を行う目的で作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成していますが、その正確性を保証するものではありません。また、当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

注記：

HSBCグループ

HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングス plc は英国・ロンドンに本部を置いています。HSBCグループは、世界の62の国と地域でお客さまにサービスを提供し、3兆410億米ドル（2023年6月末現在）の総資産を持つ、世界有数の金融グループです。

HSBCアセットマネジメント

HSBCアセットマネジメント株式会社は、HSBCグループの資産運用部門として個人・事業法人・機関投資家に投資ソリューションを提供する、HSBCアセットマネジメントに属しています。HSBCアセットマネジメントは23の国と地域に拠点を持ち、それぞれのマーケットを深く理解している国際的なネットワークを活かして、お客さまにグローバルな投資機会を提供しています。HSBCアセットマネジメント全体の運用資産は約6,510億米ドル（2023年6月末現在）です。

HSBCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 日本証券業協会